



ふるさとチョイスGCF®

×

YAMAP

栃木県

失われるのは一瞬 育つのは100年
今植えなければ、100年後の杉並木はない

日光杉並木街道 クラウドファンディング



目標金額

40,000,000円

～次の100年へ～ 未来へつなぐ後継木プロジェクト

わが国で唯一、特別史跡と特別天然記念物の二重指定を受ける
貴重な文化財

世界最長の並木道として、ギネスブックにもその名を刻んでいます

1625年、松平正綱によって植樹が始まり、

令和7年、植樹開始から400年という節目を迎えました

当時約50,000本植樹された杉は現在約12,000本まで減少…

いま——あなたの寄附が、未来の杉を育てます

寄付期間

10月20日～1月31日

ふるさと納税型

クラウドファンディング

栃木県からのお礼品のほか
限定お礼品・特典(お礼品なし)
あります 🌲

減少した並木杉を補植などにより
補っていく取組に活用します!



① 現況調査



② 計画の策定



③ 補植杉の育成



④ 環境整備

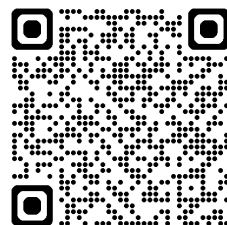
↓ 下のURL または 右のQRコード からすぐに寄附ができます →

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/6052>

※寄附金は税金控除の対象となります

栃木県生活文化スポーツ部文化振興課杉並木保護チーム

TEL 028-623-3460 Mail suginamiki@pref.tochigi.lg.jp



日光杉並木街道の成り立ち

日光杉並木街道の誕生は、今から400年前。

徳川家3代に仕え、家康公にも重用された松平正綱が、家康公の33回忌にあたり、その恩に報いるため、親子2代で日光東照宮への参道となる3つの街道に杉を植え、寄進した事が始まりと言われています。

植えられた杉は、今も私たちに荘厳な姿を見せてくれています。



このままでは将来、杉並木の景観が失われてしまいます・・・

並木杉が植えられた当時と比べ、周辺環境は大きく変わり、生育環境は悪化の一途を辿ってきました。

近代化に伴う開発による根の切断、交通事情の変化により車両通行が増加した事による排気ガスや震動などにより、並木杉の樹勢は低下、時折発生する自然災害による被害もあり、結果として並木杉は年々その数を減らしてきています。※台帳を作った昭和36年当時と比較すると約4,400本が減少

現在は保護活動の成果もあり減少のペースは緩やかになっているものの、依然として倒木や枯損は発生しており、このままでは将来的に杉並木の景観が失われてしまうおそれがあります。



杉並木を次の世代につなげていくために

日光杉並木街道の美しい景観を守っていくには、これまでの保護対策のような数を減らさないようにする取組に加え、減少した並木杉を補植などにより補っていく取組が必要となってきます。

このため、植樹400年という大きな節目を迎えたこの機会に、世界に誇る日光杉並木を次の100年先まで守り、つないでいけるよう、関係者とともに後継木対策に取り組んでいくこととしました。

新しく植える杉が並木杉のように育っていくよう、計画的、継続的に対策を進めていくには、関係者だけでなく、多くの方の協力が必要となります。ぜひ皆さまの御支援をお願いいたします。